

平成23年度 第4回市民活動サポートセンター運営委員会 会議概要

平成24年3月8日(木) 18:30~19:45
横須賀市立市民活動サポートセンター

出席委員 12名…根本、河村、柏崎、酒井、澤田、鈴木、永島、早川、古田、前川、吉田、渡辺
事務局 2名…市民生活課 山口、堀井
指定管理者 2名…NPO法人YMCAコミュニティサポート 高橋、大島理
傍聴者 0名

1 報告事項

次第に沿って報告を行った。

追加事項として、指定管理者から①利用規約の改訂、②パソコン講座(フリープラン)の開設について説明があった。

[意見概要]

1-(1) 利用状況・利用者の声について

(指定管理者)

レイアウト変更については、前回の運営委員会です承を得たとおり、のたろんフェア終了後に変更を行った。大きい変更としてワーキングコーナーを交流サロンの横に移動したが、今のところ肯定的な意見が多い。印刷機が3台フル稼働していても、思っていて程うるさいという声はあがっていない。予約スケジュール掲示の提案については、予約台帳が2つ以上あるとダブルブッキングが出る恐れがあるため、システム上管理できない限り、導入については難しいと考えている。

(委員)

ロッカーの利用状況について、利用希望団体全てが利用できるのか。

(指定管理者)

昨年抽選を行った今年度の状況としては、小ロッカーは抽選がなかったが、大ロッカーはA3の用紙が入るため人気があり、抽選により3団体が落選した。落選団体については、指定管理者が設置した中ロッカーを利用している。

1-(2) のたろんフェア 2012 報告

(指定管理者)

参加団体数76団体で、2日間の来場者数は6,069人だった。

新しい企画として、署名活動を認めたり、今まで屋外で行っていたステージをショッパーズプラザのステージで開催しユーストリームで全世界に向けてその映像を発信したり、東日本大震災を受けて実行委員会として復興支援の取り組みを行ったりした。

また、今年はいろいろな形で団体の協力を受けることができた。例えば、「よこすか何でもやんべえ〜会」がフェア前に積極的に話題づくりを行い、報道機関への投げ込みなどを行った結果、新聞などに取り上げられてサポートセンターを知らない人からも問い合わせがあるなど、反響が大きかった。他にも「横須賀歩け歩け協会」は、のたろんフェアの2日目にイベントの終点をフェア会場に設定し、新聞での広報をはじめ、当日の来場者増に貢献してくれた。事務局や実行委員会による広報活動だけでなく、こうした団体の取り組みを参考にして、各団体での広報活動にも力をいれていただけると、のたろんフェアがより広がっていくのではないかと思う。

(委員)

回を重ねるごとに新しい試みができるのはよいことだが、スタッフは大変だと思う。

2 審議事項

(1) 指定管理者から前回の運営委員会以降の新規登録団体の説明があり、新規16団体、削除2団体が承認された。

(2)

[意見概要]

2-(1) 市民公益活動団体について

(委員)

削除団体の削除理由は何か。

(指定管理者)

ユースネットは解散、ウィニング・ウィンドは団体からの申し出により削除した。

現在、全登録団体に対し、ロッカー・レターケース利用更新と同時にDB内容の確認及び更新受付中なので、今後多くの団体が削除、変更がでてくる。

2-(2) 公益性について

(指定管理者)

運営委員会で登録団体の公益性について審議しているが、公益性の考え方は時代によって変化するので、来年度から時間をかけて公益性について検討したいと考えている。

2-(3) 運営委員長の改選について

(事務局)

慣例として奇数年度ごとに、運営委員長を改選している。今回は現委員全員が委員長候補となる。

委員長になると、25年3月に運営委員の任期が終了した後も引き続き在任をお願いしたい。

選考方法は、自薦を含める推薦とし、この場で候補があがらなければ、投票としたい。

なお、現指定管理者のYMCAコミュニティサポートの指定期間が25年3月で終了するため、来年度はサポートセンター指定管理者選考の年にあたり、次期指定管理者を選考するための選考委員会が開催される。今回選出される運営委員長には、この選考委員会にも選考委員として参加していただく予定である。

(委員)

根本委員長が再任することに支障がなければ、お願いしたい。

(事務局)

根本委員に委員長をお願いすることに賛成する人は挙手してください。

—全員挙手—

(事務局)

では、根本委員に委員長就任をお願いしたい。

—拍手—

3 その他

来年度の運営委員会開催日程が示された。

追加事項として、①3月18日開催予定の市民協働推進の集い「震災から地域の『つながり』を見つめなおす～Not Aloneは横須賀から～」、②さあ、新しいステージへ！～団塊の世代への市民活動のススメ～、③朗読劇ハッピーバースデー の紹介があった。

(指定管理者)

団塊の世代に向けた市民活動紹介は、今までずっとやりたいと考えていたもので、やっと実現する。来年度以降も続けていきたいと考えている。方法としてはサポートセンター登録団体に協力していただき8団体位がブースを設置する。そこを一般の参加者が回れるようにして出会いの場をつくりたい。

以上